

の同期会

北の国から東京同窓会への参加

北海道帯広市在住 第 45 期 佐藤 禎稔

現在、私は帯広畜産大学に奉職し、日本一の農業規模を誇る北海道十勝地方で大規模畑作の農業機械の教育研究活動に従事しております。ここで、十勝の農業についてちょっと紹介しますと、地元能代山本の農業は稲作を基幹とし、農家 1 戸当たりの営農規模は約 2ha ですが、ここ十勝は平均 34ha と実に 17 倍の大農家です。しかし、寒冷地のために水田はほとんど無く、馬鈴薯、豆類、小麦、テンサイ(砂糖の原料)などを主に生産しています。一般農家は 100 馬力級のトラクタを筆頭に 3 台以上のトラクタを所有し、小さいものでも 50 馬力以上です。私の実家は能代でもかなり大きい農家ですが、それと比べものにならない、欧米式の田園風景が見られる地域で高校卒業後の人生を送っています。

能代高校の卒業生の多くは仙台や東京の大学に進学しているせいか、北海道にはほとんど同窓会がおらず、毎年札幌で同窓会が行われているものの、札幌近郊の諸先輩方がほとんどです。私の住む北海道東部の大学には母校からの進学者はほとんど無く、帯広畜産大学でも私の後輩が入学したという話は全く聞かず実に寂しい限りです。そのためか、私は東京に出張する際、級友に電話して気の知れた同士で高校時代の思い出を肴に酒宴を催して頂いております。8 年ほど前には、能代在住の級友が厄払い式を計画してくださり、それに参加する機会がありました。そのときに、母校の同期生に 23 年ぶりに会うことができ、また東京に同窓生の集まりがあることも併せて知りました。その後、平成 12 年には東京同窓会のホームページが立ち上がりましたが、私も当初からアクセスだけは重ねておりました。しかし、そのうちに掲示板上で交わされる懐かしい同期生達

のやりとりを見ているだけでは物足りなくなり、ついには北の国からの書き込みを始めた次第です。

そうした中、一昨年の 4 月に掲示板で上野の「きくち」でのミニ同期会の企画を知り、早速連絡をとった結果、わざわざ私の都合に合わせて開催することになりました。そのときはもう 30 年近くも会っていない同期生に私のことを思い出してもらえるか、また級友の顔を思い出するために卒業アルバムを取り出して予習をし、心震わせて参加させて頂きました。昔とほとんど変わらない方、そうでない方もいましたが、皆さん立派な社会人でした。このときは、樽子山の木造校舎で過ごした 3 年間の高校生活の思い出話に花が咲き、時の経つのも忘れてつい飲み過ぎてしまいました。(編集者注：45 期は樽子山最後の 3 年生です) そんな楽しい一時もあっという間に終わり、ホテルに帰りましたが、その晩は多少興奮気味で寝付かれなかったことを覚えています。参会の皆様方には改めて感謝申し上げます。北の国から参加して本当に良かったと思っております。またの再会の時を願い、皆様のご健康とご活躍をご祈念申し上げ、東京同窓会の益々のご発展を願っております。

最後に、私の住む北海道十勝の農業について私の教育研究活動を紹介したホームページを開設しておりますので、お立ち寄り頂くと共に、皆様方のご子息の進学等のご参考にして頂ければ幸いです。

(<http://www.obihiro.ac.jp/~fmsatow/>)



株式会社 印刷工芸

代表取締役 北島 茂
第 25 期

〒124-0022
東京都葛飾区奥戸 5-4-5
TEL 03-3694-0540
FAX 03-3694-0567

第 48 期

ナチュラル社 / 秋田県健康管理士

大塚 忠雄

〒016-0891
秋田県能代市西通 14-18
TEL 0185-53-5605
FAX 020-4665-8501

第 27 期

能代高校東京同窓会

副会長 石 嶋 喜 直
(八森町出身)

〒248-0002
鎌倉市二階堂 773-138
電話/FAX 0467-24-5605

49 期の同期会について

第 49 期 田村 盛仁

去年も同記事を述べたかも知れませんが、我々 49 期と言うよりも、実は能代 2 中 29 期会と言う中学校時代の同期会を年に 4 回（新年会、花見会、納涼会、忘年会）定期的に都内で開催しております。当然ながらその中のメンバーの中に能高 49 期生が 14 名もおりまして、自然と 49 期同期会にもなっているという感じです。ですが、49 期生として声を掛けて集まった訳ではありませんので、メンバーは限られておりますが、特筆すべきは、今年はその中から能高五日会（青年婦人部の集まり）へ新顔として 2 名（谷田部三雄さん、佐藤良孝さん）も参加してくれました。現在では我々同期の中から片谷浩之さんや、松永京子さんも積極的に東京同窓会の方へ参加して幹事として活躍してくれております。今後の課題は、独立した 49 期生の集まりを行うべく昼夜活動している次第です。



寄稿 1

能代高校科学クラブの思い出

第 24 期 山縣 輝輔



先日、ふと古いアルバムを眺めていたところ、能代高校科学クラブの人々の写真が出てきました。私は能代二中から、能代高校に昭和 26 年 4 月に入学し昭和 29 年 3 月卒業し、科学クラブに 3 年間お世話になりました。同期生には中村秀樹、浜野信雄、平川了禎各氏が在籍していたと記憶しています。

高 2 の夏には、栗駒山に植物採集に出かけました。引率の先生は相沢東一先生で、生徒は 7 名でした。奥羽本線十文字駅下車、バスで小安温泉まで行き植

物採集しながら、栗駒山の山頂をめざしました。山頂に立って外界を展望すると心が洗われ、途中の苦勞を一瞬のうちに忘れ、晴れ晴れとした快感を味わいました。

小学生時代秋田県男鹿市渡部村で過ごしたため、春秋年 2 度の山菜取りに、寒風山登山したことが思い出され、冬には何度も、校庭から渡部神社へ裸足で、雪の上を走らされたことを懐かしく思い出させてくれました。

その後、東京に出てからは鳥海山、蔵王、南アルプス、北アルプスの山々、富士山、丹沢、大菩薩峠等山歩きを 55 歳頃まで若い人と共に過ごしました。ウィーン駐在中は、家族でオーストリーの山々を歩いたり、スキーを楽しみました。

能代高校在学中は科学クラブで、植物の標本、魚の標本づくりの手伝いをしたりしました。

科学クラブの昭和 28 年卒の方々の歓送会の写真によると当時お世話になった相沢東一先生、小山善一先生、渡辺金重先生、柴田先生、先輩、同輩、後輩の顔ぶれが写っており、すでに故人になられた相沢先生、小山先生、柴田先生のご冥福をお祈り申し上げます。

もし、写真 1 栗駒山登山の仲間、写真 2 昭和 28 年卒の歓送会等に写っている先輩、同輩、後輩の方々と、一献傾けたく山縣までご一報いただければと思いつつペンを置きます。



写真 1 栗駒山登山の仲間
昭和 27 年 7 月



写真 2 昭和 28 年 3 月卒業
科学部員送別会 昭和 28 年 2 月